

2025 年 度

日 本 史

注 意

1. 監督者の合図があるまでは問題冊子と解答用紙を開かないでください。
2. 別紙の解答用紙は、マーク用解答用紙(1)と記述用解答用紙(2)とに分かれています。指定された解答欄をまちがえないように注意してください。
3. 解答用紙(1)は直接コンピューターにかけますので、折りまげたり、よごしたりしないでください。また枠で囲まれた部分以外には記入しないでください。
4. 解答用紙(1)にマークするときは該当する○にはっきりとマークしてください。

マークのしかた (良い例) ●
(悪い例) ⊗ ⊗ ⊗ ⊗

(万年筆、ボールペンなどは使用してはいけません)

5. 解答用紙(1)に誤ってマークした場合には、消しゴムで跡が残らないようにていねいに消し、消しかすをきれいに払ってください。
6. 試験開始後、解答用紙(1)には氏名、受験番号を記入し、さらにその番号をマークしてください。なお、受験番号を記入するときには解答用紙(1)の〔受験番号記入上の注意〕をよく読んで、まちがいのないようにしてください。
解答用紙(2)には、氏名、受験番号を記入してください。
7. 試験問題はこの冊子の1～11ページに記載されています。
問題冊子の余白部分は、メモとして利用して構いません。
8. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ってください。

1 次の文章A～Cを読んで、以下の問に答えなさい。

- [A] ヤマト政権では大王が頂点にたち、有力豪族らが大王の統治を支えた。豪族は大王から氏の名と、政権内での地位をあらわす姓^bを与えられた。豪族のなかには、ヤマト政権の支配に抵抗した地方豪族^cもいた。ヤマト政権は地方豪族の抵抗を抑え、各地に大王の直轄領として [d-1] を置き、服属した地方豪族は [d-2] などの地位を与えられ、従来の支配領域を統治した。
- [B] 律令国家の地方組織では、全国が畿内・七道^eに行政区分され、国・郡・里がおかれ、国司・郡司・里長が任じられた。また、難波には摂津職、九州北部には大宰府^fなどが置かれた。
- [C] 律令体制の行き詰まり^gに直面した政府は、9世紀末から10世紀前半にかけて受領に大きな権限と責任を負わせるようにした。受領は有力農民に田地の耕作を請け負わせ、官物と [i-1] を課すようになった。受領のなかには暴政^jを訴えられるものもいた。やがて11世紀後半になると、受領は自分のかわりに現地に [i-2] を派遣し、在庁官人が現地の支配を行うようになった。

問 a. 下線部 a に関連して、ヤマト政権の大王に関する説明として誤っているものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 倭の五王のうち、最後の武にあたる人物は雄略天皇であると考えられている。
- ② 倭王武は、中国南朝の宋に朝貢して安東大將軍の称号などを与えられた。
- ③ 5世紀の大王の墓と伝えられているものに大仙陵古墳や誉田御廟山古墳などがある。
- ④ 7世紀中頃になると、畿内の大王は固有の方形周溝墓を営んだ。

問 b. 下線部 b に関連して、職掌を氏の名とした有力豪族に与えられた姓として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 連 ② 君 ③ 臣 ④ 直

問 c. 下線部 c に関連して、6 世紀前半にヤマト政権に反乱を起こした磐井の墓といわれている古墳として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 稻荷山古墳 ② 藤ノ木古墳
③ 岩戸山古墳 ④ 造山古墳

問 d. 空欄 d-1・d-2 に当てはまる語句の組合せ (d-1・d-2 の順) として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 屯倉・国造
- ② 屯倉・伴造
- ③ 田莊・国造
- ④ 田莊・伴造

問 e. 下線部 e に関連して、七道に該当しないものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 南海道 ② 山陽道 ③ 東山道 ④ 中山道

問 f. 下線部 f に関連して、国司・郡司に関するア～エの説明について、正しいものの組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

ア 国司には、中央から官人が派遣された。

イ 国司の子弟は、式部省に設置された綜芸種智院に入学できた。

ウ 郡司には、伝統的な地方豪族が任命された。

エ 郡司は終身官であり、四等官制は適用されなかった。

- ① ア・ウ ② ア・エ ③ イ・ウ ④ イ・エ

問 g. 下線部 g に関連して、大宰府に関する説明として誤っているものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 大宰府は「遠の朝廷」とも称された。
- ② 大宰府は外国使節の接待などを業務とした。
- ③ 大宰府には対外防備のための鎮守府が置かれた。
- ④ 大宰府の長官は帥であった。

問 h. 下線部 h に関連して、律令体制の行き詰まりを背景に、醍醐天皇が律令体制の再建をはかろうとして行った施策として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 公営田の開墾
- ② 荘園整理令の発布
- ③ 記録荘園券契所の設置
- ④ 百万町歩の開墾計画

問 i. 空欄 i－1・i－2 に当てはまる語句の組合せ(i－1・i－2 の順)として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 公事・預所
- ② 公事・目代
- ③ 臨時雑役・預所
- ④ 臨時雑役・目代

問 j. 下線部 j に関連した次の史料に関するア・イの説明について、その正誤の組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

〔史料〕

尾張国郡司百姓等解し申し、官裁を請ふの事

裁断せられむことを請ふ、当国の守藤原朝臣元命、三箇年の内に責め取る
非法の官物、并せて濫行横法三十一箇条の (愁状)

一 …例挙の外に三箇年の収納、暗に以て加 (徴)せる正税冊(四十)三
万二千二百冊八束が息利の十二万九千三百七十四束四把一分の事…

(中略)

一 …元命朝臣が子弟郎等、郡司百姓の手より雑物等を乞ひ取るの事…

(中略)

永延二年十一月八日 郡司百姓等

(『尾張国解文』)

ア 藤原元命の暴政を郡司や有力農民らが尾張国国司に強訴したものである。

イ 藤原元命は定例の出挙のほかに正税の利息を徴収しており、元命の子弟や郎等(郎党)らは略奪を行っていた。

① ア — 正, イ — 正

② ア — 正, イ — 誤

③ ア — 誤, イ — 正

④ ア — 誤, イ — 誤

2 次の文章A～Dを読んで、以下の問に答えなさい。

【A】 明治政府は朝鮮に国交樹立を要求したが、朝鮮は正式な交渉には応じなかった。日本国内では征韓論が高揚し、西郷隆盛を使節として朝鮮に派遣することがいったん決まったが、明治六年の政変で使節派遣を主張していた参議は敗れて下野した。その後、政府は江華島事件を機に日朝修好条規^aを結び、朝鮮を開国させた。1880年代には壬午軍乱や甲申事変^bが勃発し、その結果、清の朝鮮に対する影響力が強化^cされた。

【B】 朝鮮国内での日本や欧米、朝鮮王朝に対する農民の反抗は、1894年^d、e－1に拡大した。これを機に朝鮮の内政改革をめぐって日清間の対立が深まって交戦状態に入り、日清戦争が勃発した。戦いは日本の勝利に終わり、1895年に下関条約が締結されて講和が成立した。日清戦争後、朝鮮で反日親露^fの傾向が見られるなか、日本公使のe－2は閔妃殺害事件を引き起こした。朝鮮は1897年に国名を大韓帝国(韓国)と改め、国王は皇帝と称した。

【C】 日本は満洲・韓国支配をめぐってロシアと対立し、1904年に日露戦争が勃発した。日露開戦後に日本は韓国と日韓議定書^gを結び、韓国を日本に協力させた。また、日露戦争中に第1次日韓協約、戦後に第2次日韓協約・第3次日韓協約^hを結び、支配を強めていった。そして1910年に韓国併合条約を締結し、韓国を朝鮮と改めさせ日本の領土とした。これ以後、日本は朝鮮の植民地支配ⁱを進展させた。

【D】 1918年、米大統領j－1は14カ条の原則を提唱し、そのなかで民族自決を提示した。その結果、世界各地で民族自決の期待が高まった。朝鮮でも三・一独立運動が発生・拡大した。この独立運動を背景に、当時のj－2内閣はこれまでの武断政治を改めた。そして、いわゆる文化政治が1930年代半ばまで展開することになった。

問 a. 下線部 a に関連して、下野した参議には西郷隆盛や板垣退助、江藤新平、副島種臣がいる。これらの人物の説明として誤っているものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 西郷隆盛は、鹿児島私学校生らに擁立されて西南戦争を起こし、これが本格的な士族反乱の最後となった。
- ② 板垣退助は、愛国公党を結成して民撰議院設立の建白書を政府に提出した。
- ③ 江藤新平は、司法卿としてボアソナードの協力のもとで民法を起草した。
- ④ 副島種臣は、福岡孝弟とともにアメリカの制度を参考に政体書を起草した。

問 b. 下線部 b に関連して、次の史料は日朝修好条規の一部である。この史料に関するア・イの説明について、その正誤の組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

〔史料〕

第一款 朝鮮国ハ自主ノ邦ニシテ、日本国ト平等ノ権ヲ保有セリ。嗣後両国和親ノ実ヲ表セント欲スルニハ、彼此互ニ同等ノ礼義ヲ以テ相接待シ、毫モ侵越猜嫌スル事アルヘカラス。…

(中略)

第十款 日本国人民、朝鮮国指定ノ各口ニ留在中、若シ罪科ヲ犯シ朝鮮国人民ニ交渉スル事件ハ、総テ日本国官員ノ審断ニ帰スヘシ。…

(『日本外交文書』)

ア 第一款は、朝鮮を独立国として承認し、清国の朝鮮に対する宗主権を否定しようとするものであった。

イ 第十款は、日本と朝鮮が相互に領事裁判権を認めあうものであった。

- | | |
|----------------|----------------|
| ① ア — 正, イ — 正 | ② ア — 正, イ — 誤 |
| ③ ア — 誤, イ — 正 | ④ ア — 誤, イ — 誤 |

問 c. 下線部 c に関連して、壬午軍乱・甲申事変に関するア～エの説明について、正しいものの組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

ア 壬午軍乱は、急進開化派の大院君が兵士を率いて閔氏政権を倒そうとしたものである。

イ 壬午軍乱後、日本と朝鮮とのあいだで済物浦条約が結ばれて日本は賠償金を得るなどした。

ウ 甲申事変は、清仏戦争を好機と判断した朝鮮の独立党がクーデタを起こしたものである。

エ 甲申事変の翌年、大井憲太郎は『時事新報』で脱亜論を発表し検挙された。

- ① ア・ウ ② ア・エ ③ イ・ウ ④ イ・エ

問 d. 下線部 d と同年に締結されたものとして適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 樺太・千島交換条約 ② 桂・タフト協定
③ 日仏協約 ④ 日英通商航海条約

問 e. 空欄 e－1・e－2 に当てはまる語句の組合せ(e－1・e－2 の順)として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 甲午農民戦争・三浦梧楼
② 甲午農民戦争・樺山資紀
③ 義和団戦争・三浦梧楼
④ 義和団戦争・樺山資紀

問 f. 下線部 f に関連して、下関条約に日本全権の一人として調印した外務大臣として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 小村寿太郎 ② 陸奥宗光
③ 井上馨 ④ 加藤高明

問 g. 下線部 g に関連して、日露戦争に対する主戦論・非戦論に関するア・イの説明について、その正誤の組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

ア 対露同志会や戸水寛人ら東京帝国大学などの七博士が主戦論を唱えた。

イ 社会主義者の幸徳秋水や堺利彦らは『平民新聞』を発刊して非戦論・反戦論を唱えた。

- | | |
|----------------|----------------|
| ① ア — 正, イ — 正 | ② ア — 正, イ — 誤 |
| ③ ア — 誤, イ — 正 | ④ ア — 誤, イ — 誤 |

問 h. 下線部 h に関連して、日韓協約の条文Ⅰ～Ⅲを、締結の古いものから年代順に並べたものとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

Ⅰ 韓国政府ノ法令ノ制定及重要ナル行政上ノ処分ハ予メ統監ノ承認ヲ経ルコト

Ⅱ 韓国政府ハ日本政府ノ推薦スル日本人一名ヲ財務顧問トシテ韓国政府ニ備聘シ、財務ニ関スル事項ハ総テ其意見ヲ詢ヒ施行スヘシ

Ⅲ 日本国政府ハ、在東京外務省ニ依リ今後韓国ノ外国ニ対スル関係及事務ヲ監理指揮スヘク、日本国ノ外交代表者及領事ハ外国ニ於ケル韓国ノ臣民及利益ヲ保護スヘシ

- | | |
|-------------|-------------|
| ① Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ | ② Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ |
| ③ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ | ④ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ |

問 i . 下線部 i に関連して、明治・大正期における日本による朝鮮の植民地支配に関する説明として誤っているものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 統治機関として朝鮮総督府が設置され、当初、朝鮮総督は現役軍人に限られた。
- ② 朝鮮全土で土地の測量や所有権の確認などのために土地調査事業が実施された。
- ③ 所有権の不明確などを理由に多くの土地が接収され、土地を失った朝鮮人の一部は職を求めて日本や満洲に移住した。
- ④ 朝鮮では日本語教育の徹底など皇民化政策がとられ、姓名を日本風に改める創氏改名が行われた。

問 j . 空欄 j ー 1 ・ j ー 2 に当てはまる人物の組合せ(j ー 1 ・ j ー 2 の順)として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① ハーディング・原敬
- ② ハーディング・加藤友三郎
- ③ ウィルソン・原敬
- ④ ウィルソン・加藤友三郎

3 次の文章を読んで、以下の問に答えなさい。

18世紀半ばには、商品経済の発展に伴い、都市の裕福な町人のみならず、武家の中からも幅広い分野で文化の担い手が生まれた。また、初等教育機関である寺子屋、中等教育機関である郷学や私塾が各地につくられていった。^a

学問・思想の分野では、 や新井白石が西洋の知識を紹介したことを先駆けに、 がキリスト教に触れない漢訳洋書の輸入制限をゆるめたこと、 ・野呂元丈らにオランダ語を学ぼう命じたことから、洋学はまず蘭学として出発した。蘭学は実学としての^e医学でいち早く取り入れられた。

文学では、身近な政治や社会のできごとを描いた小説が流行した。絵を主体とする小説である草双紙や、江戸の遊里を描く短編小説である、風刺滑稽のきいた絵入り小説である がさかんに売り出された。一方で、読む文章を主体とする^h読本も現れた。

絵画では、ⁱ浮世絵が最盛期を迎えた。また、明・清の南宗画の影響を受けた ^k西洋画が広がった。

問1 下線部 a に関連して、富永仲基の父ら大坂町人が設立し、朱子学・陽明学などを町人に教えて、多くの町人学者を生んだ学塾は何か答えなさい。

問2 空欄 b には『華夷通商考』を記した天文・地理学者の人物が入る。この人物は誰か答えなさい。

問3 空欄 c に当てはまる人物は誰か答えなさい。

問4 空欄 d には『甘藷記』を記した儒学者・蘭学者の人物が入る。この人物は誰か答えなさい。

問5 下線部 e に関連して、前野良沢や杉田玄白らがオランダ語の解剖書『ターヘル＝アナトミア』を翻訳したものを何というか答えなさい。

問6 空欄 f に当てはまる語句は何か答えなさい。

問7 空欄 g に当てはまる語句は何か答えなさい。

問8 下線部 h に関連して、怪談小説『雨月物語』の作者である読本作家は誰か答えなさい。

問9 下線部 i に関連して、以下の問に答えなさい。

- (1) 浮世絵の黄金時代を現出することとなった、鈴木春信が創作した多色刷極彩色の版画を何というか答えなさい。
- (2) 役者絵・相撲絵を描き、「市川鯉蔵の竹村定之進」などを描いた浮世絵師は誰か答えなさい。

問10 空欄 j に当てはまる語句を漢字3文字で答えなさい。

問11 下線部 k に関連して、以下の問に答えなさい。

- (1) 遠近法・陰影法を取り入れた洋風画を描き、日本銅版画を創始した画家は誰か答えなさい。
- (2) 松平定信に仕え、『浅間山図屏風』などを描いた画家は誰か答えなさい。